

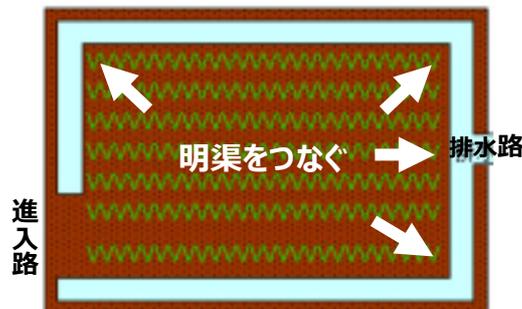
# そばづくり情報第1号

令和5年7月26日  
村山総合支庁  
農業技術普及課  
TEL: 023-621-8295

## 排水対策と適期の播種作業で安定収量を確保！

### ポイント① 排水対策

- 播種から生育初期にかけて湿害を受けると、生育が抑制され収量が低下します。  
⇒湿害回避のため、**排水対策を徹底**しましょう。
- **降雨の排水は地表からの排水が基本**です。  
播種前に畦畔に沿って明渠を掘りましょう。  
明渠は、深さを **30~40cm** とし、**確実に排水路につなぎ**、排水効果を高めましょう。
- 水田転換畑は湿害が発生しやすいため、明渠だけでなく、心土破碎(サブソイラー)や弾丸暗渠等を積極的に組み合わせましょう。



### ポイント② 耕起作業・施肥

- そばはカルシウムの吸収が多い作物です。酸度矯正も兼ねて**石灰資材**を散布しましょう。
- 耕起・碎土は丁寧に、**耕深 15cm 以上、碎土率(2cm 以下の土塊の割合)70%以上**を目標としましょう。
- 施肥は、窒素分量を **2~4kg/10a** とし、結実率や耐倒伏性の向上のため、リン酸とカリは窒素より多く施用します。

#### 【施用の目安】

石灰資材(現物量)	苦土石灰 100kg/10a		
基肥(成分量)	窒素2~4kg/10a	リン酸6~9kg/10a	カリ6~9kg/10a

### ポイント③ 播種時期・播種量

- 播種の適期は、**平坦部では8月上旬、中山間部では7月下旬~8月上旬、山間部では7月下旬**です。
- 早播きは、徒長による倒伏や高温による結実不良、遅播きは、生育量が不足による減収が懸念されます。**計画的な作業で適期に播種**を行いましょ。
- 播種量の目安は、**条播 5~6kg/10a、散播 7~8kg/10a** です。播種深度は **2cm 程度** を目安に播種を行いましょ。

**農作業事故と熱中症に注意！** 声をかけ合い農作業事故を防止しましょう！

機械作業を中断する時は必ずエンジンを止めましょ！

こまめな休憩と水分補給、ゆとりを持った無理のない作業を！